

八百津町  
子ども・子育て支援事業に関する  
調査結果報告書  
(概要版)

令和6年6月  
岐阜県 八百津町

# I アンケート調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、令和2年3月に策定した「第2期八百津町子ども・子育て支援事業計画」が令和6年度で最終年度を迎えるため、令和7年度を始期とする第3期計画の策定にあたり、必要な情報を得るため子育て家庭ニーズの動向分析等を行い、まちの現状と今後の子ども・子育て支援における課題を整理することを目的として実施しました。

## 2 調査概要

項目	就学前児童の保護者	小学生の保護者
調査対象者	令和5年12月28日現在、八百津町に在住の未就学児童を持つ保護者の方	令和5年12月28日現在、八百津町に在住の小学生児童を持つ保護者の方
調査期間	令和6年2月3日(土)～令和6年2月16日(金)	
調査方法	郵送配布・郵送回収による本人記入方式	

## 3 回収結果

種別	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者	217件	115件	53.0%
小学生の保護者	308件	174件	56.5%

## 4 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n(number of case)」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

## Ⅱ アンケート調査結果

### 1 お子さんご家族の状況について

#### 1. お子さんの生まれた年月をご記入ください。(数量回答)

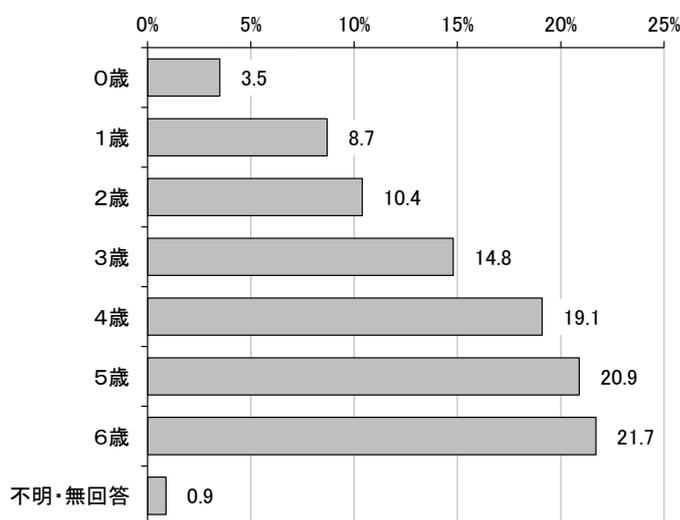
(就学前児童の保護者:問2、小学生の保護者:問2)

子どもの年齢についてみると、就学前児童では「6歳」が21.7%と最も高く、次いで「5歳」が20.9%、「4歳」が19.1%となっています。

子どもの学年についてみると、小学生では「6年生」が23.0%と最も高く、次いで「5年生」が22.4%、「3年生」が17.2%となっています。

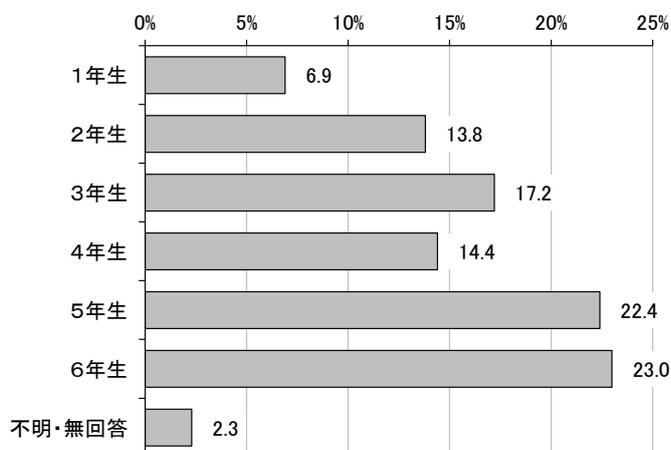
#### 【就学前児童の保護者】

全体(n=115)



#### 【小学生の保護者】

全体(n=174)



## 2 子どもの育ちをめぐる環境について

### 1. 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)

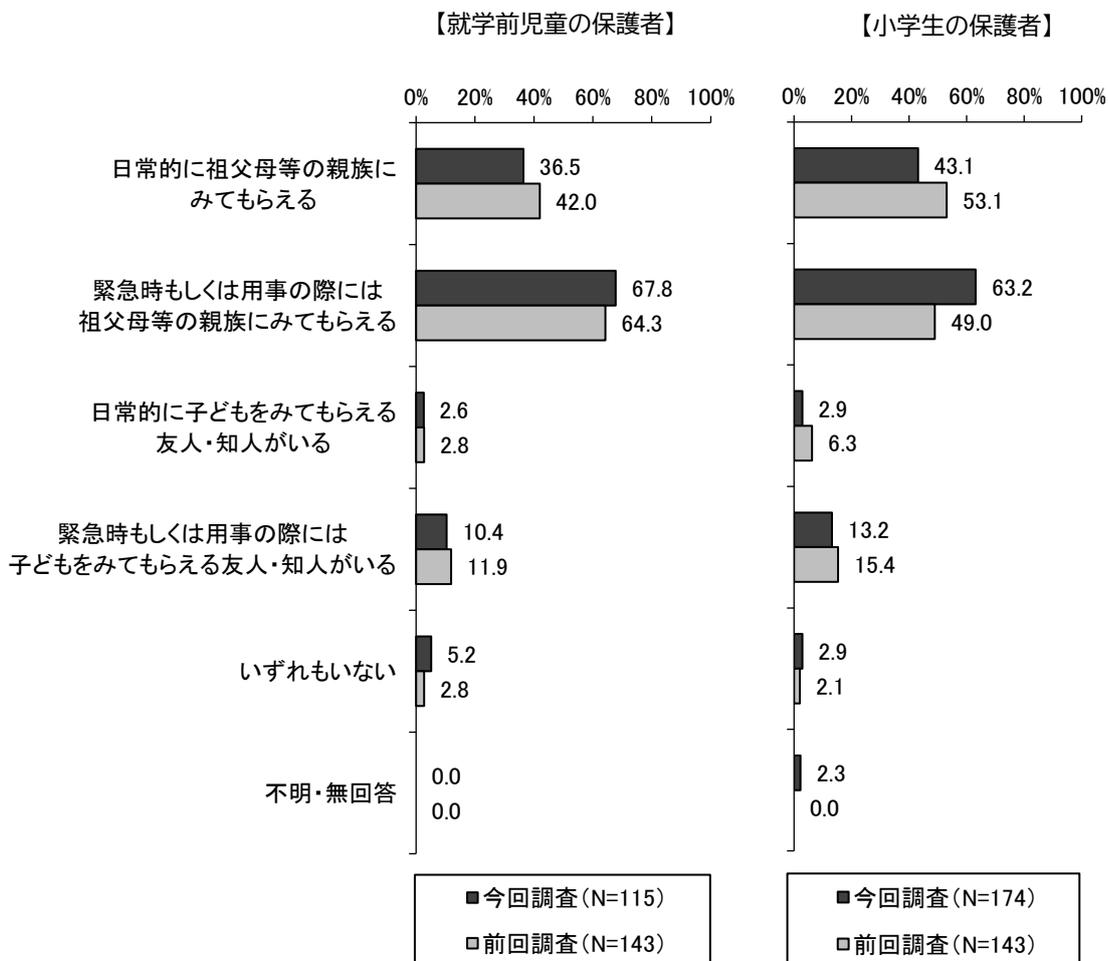
(就学前児童の保護者:問7、小学生の保護者:問6)

日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人の有無についてみると、就学前児童の保護者では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が67.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が36.5%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が10.4%となっています。

前回調査と比較すると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が5.5ポイント減少しています。

小学生の保護者では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が63.2%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が43.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が13.2%となっています。

前回調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が14.2ポイント増加し、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が10.0ポイント減少しています。



## 2. お子さんの子育てをする上で、子育ての悩みなどを気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(単数回答)

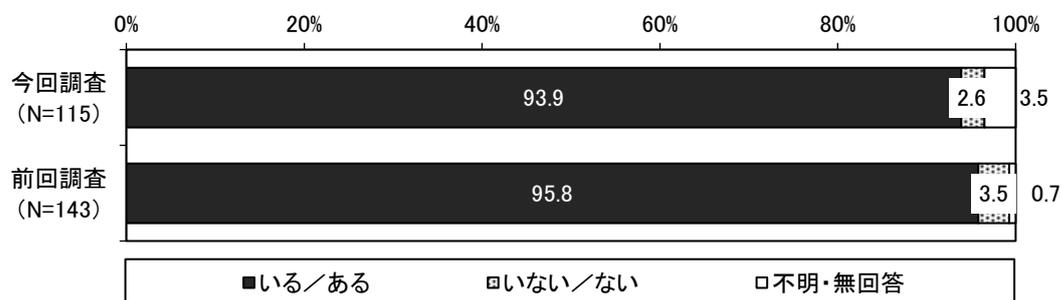
(就学前児童の保護者:問8、小学生の保護者:問7)

お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人の有無についてみると、就学前児童の保護者では「いる／ある」が93.9%、「いない／ない」が2.6%となっています。

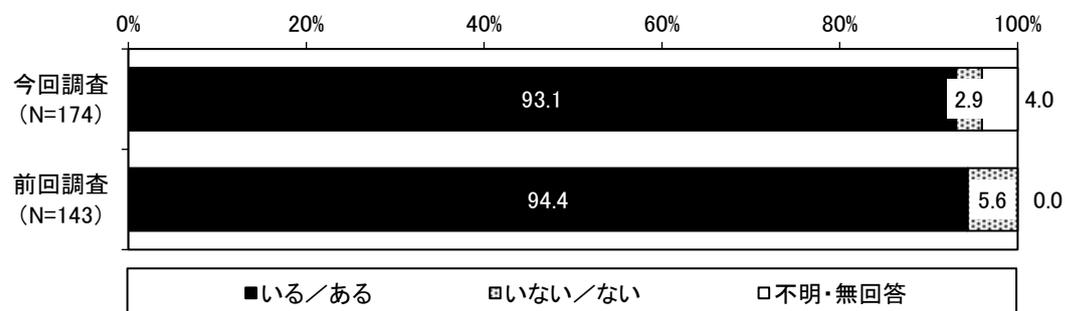
小学生の保護者では「いる／ある」が93.1%、「いない／ない」が2.9%となっています。

就学前児童の保護者・小学生の保護者ともに、前回調査との比較において、大きな違いはありません。

### 【就学前児童の保護者】



### 【小学生の保護者】



### 3. お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(複数回答)

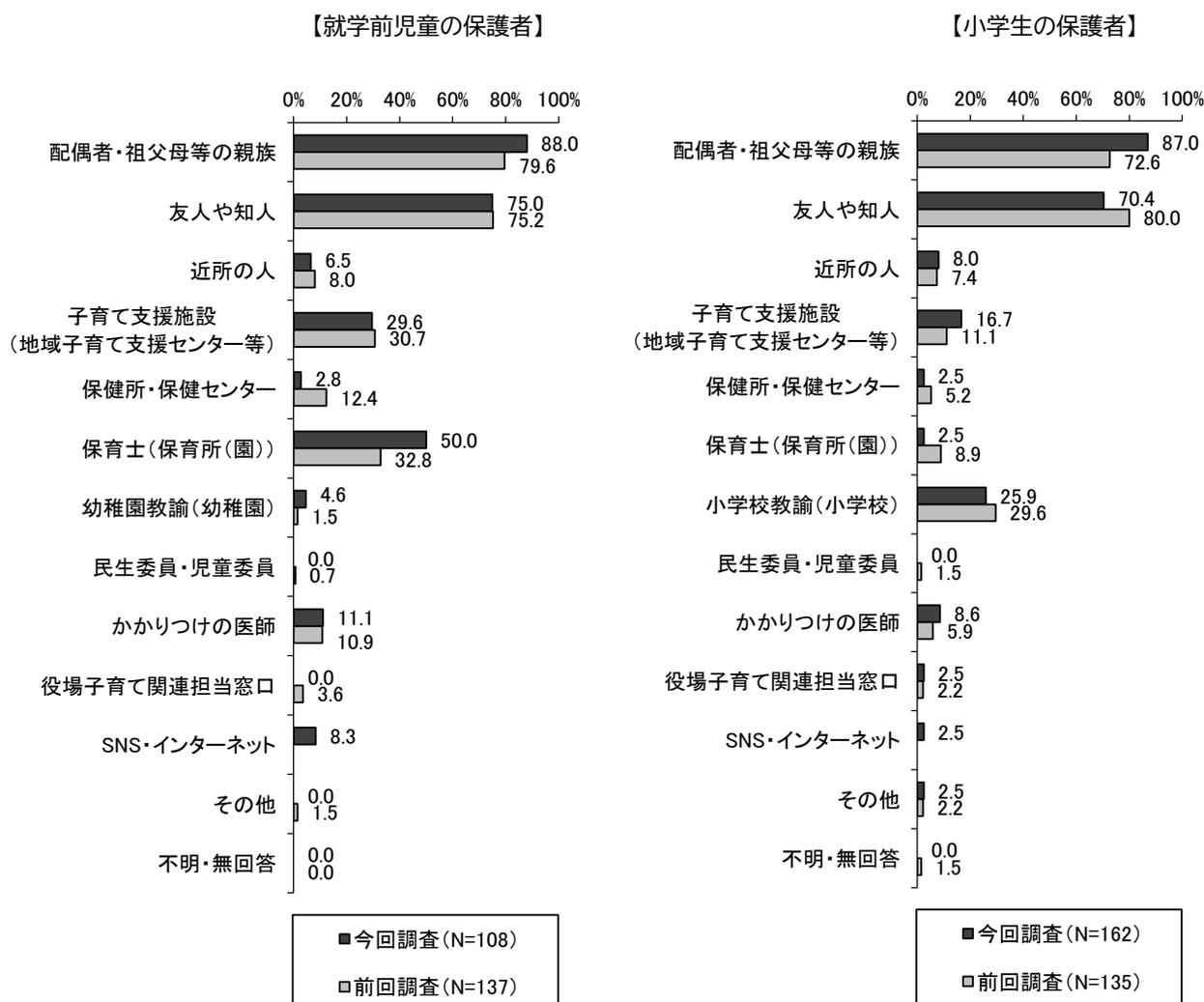
(就学前児童の保護者:問8-1、小学生の保護者:問7-1)

お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先についてみると、就学前児童の保護者では「配偶者・祖父母等の親族」が88.0%と最も高く、次いで「友人や知人」が75.0%、「保育士(保育所(園))」が50.0%となっています。

前回調査と比較すると、保育士(保育所(園))」が17.2ポイント、「配偶者・祖父母等の親族」が8.4ポイント増加しています。

小学生の保護者では「配偶者・祖父母等の親族」が87.0%と最も高く、次いで「友人や知人」が70.4%、「小学校教諭(小学校)」が25.9%となっています。

前回調査と比較すると、「配偶者・祖父母等の親族」が14.4ポイント、「子育て支援施設(地域子育て支援センター等)」が5.6ポイント増加し、「友人や知人」が9.6ポイント、「保育士(保育所(園))」が6.4ポイント減少しています。



※「SNS・インターネット」は今回調査のみの選択肢です。

「配偶者・祖父母等の親族」は前回調査では、「祖父母等の親族」となっています。

### 3 保護者の就労状況について

#### 1. 母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。(単数回答)

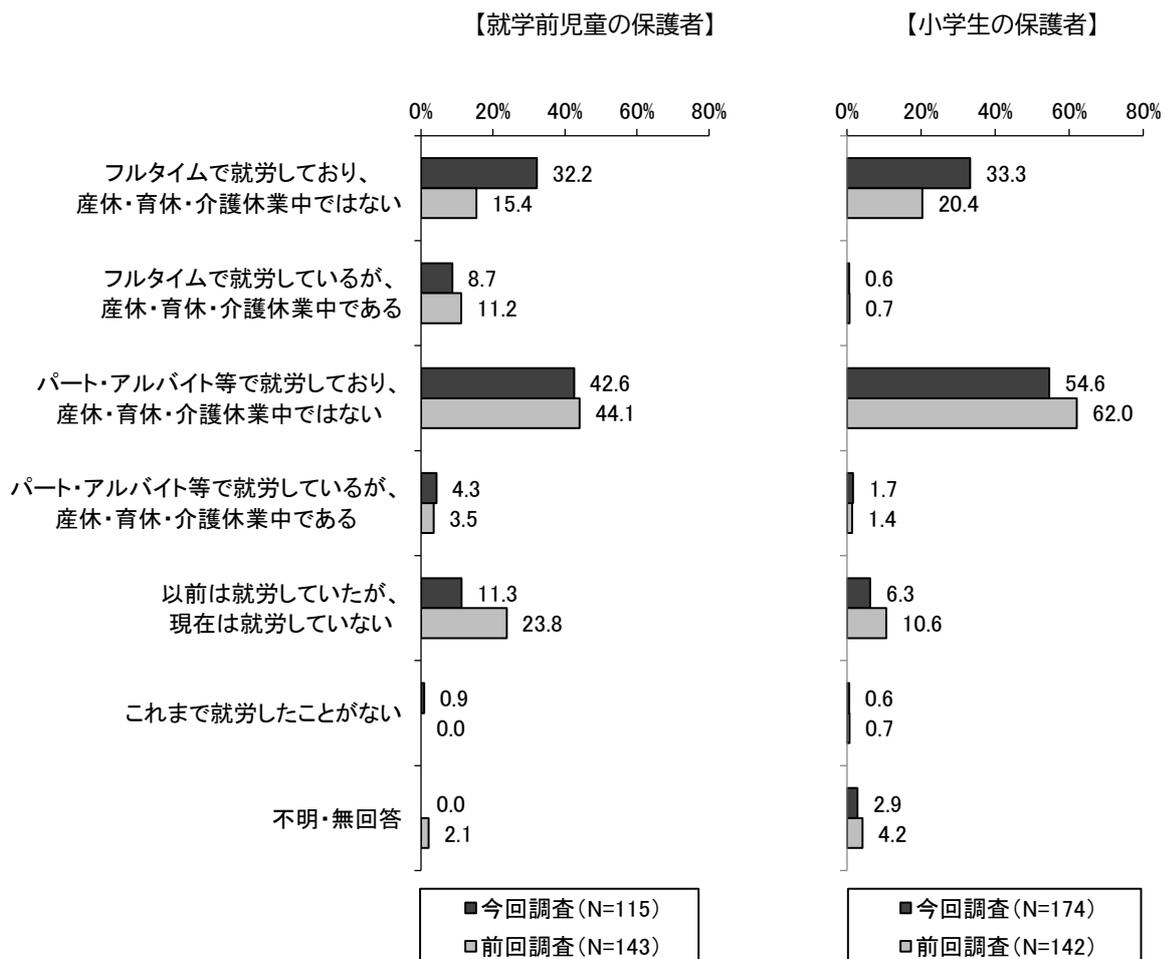
(就学前児童の保護者:問10、小学生の保護者:問9)

母親の現在の就労状況についてみると、就学前児童の保護者では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が42.6%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が32.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が11.3%となっています。

前回調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が16.8ポイント増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が12.5ポイント減少しています。

小学生の保護者では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が54.6%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が33.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が6.3%となっています。

前回調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が12.9ポイント増加し、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が7.4ポイント減少しています。



## 4 平日の保育施設等の利用状況について

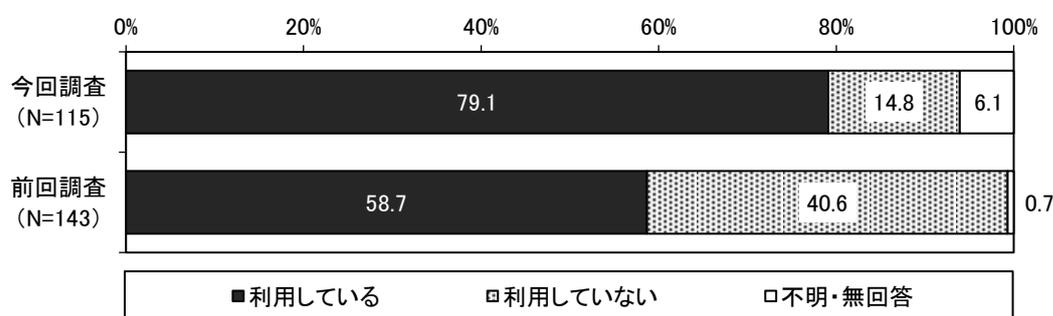
### 1. お子さんは現在、幼稚園や保育所(園)などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。 (単数回答)

(就学前児童の保護者:問14)

現在の保育施設等の利用状況についてみると、「利用している」が79.1%、「利用していない」が14.8%となっています。

前回調査と比較すると、「利用している」が20.4ポイント増加し、「利用していない」が25.8ポイント減少しています。

【就学前児童の保護者】



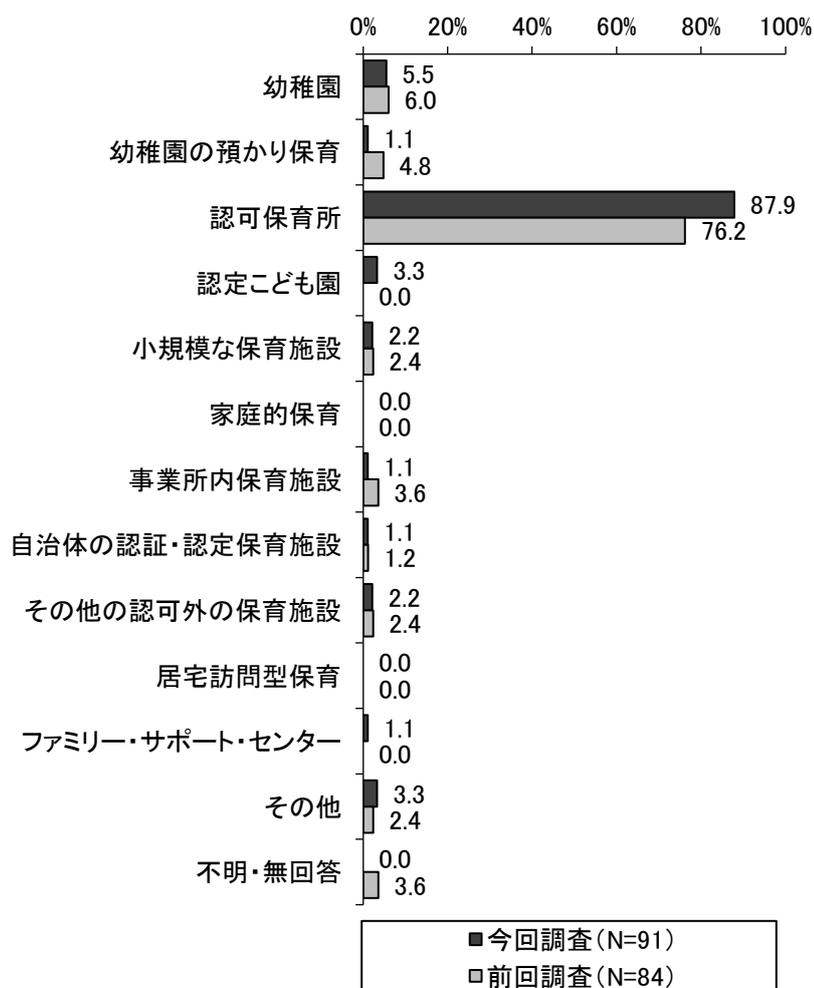
## 2. 平日どのような保育施設等を利用していますか。(複数回答)

(就学前児童の保護者:問14-1)

現在利用している保育施設等についてみると、「認可保育所」が87.9%と最も高く、次いで「幼稚園」が5.5%、「認定こども園」「その他」がともに3.3%となっています。

前回調査と比較すると、「認可保育所」が11.7ポイント増加しています。

【就学前児童の保護者】



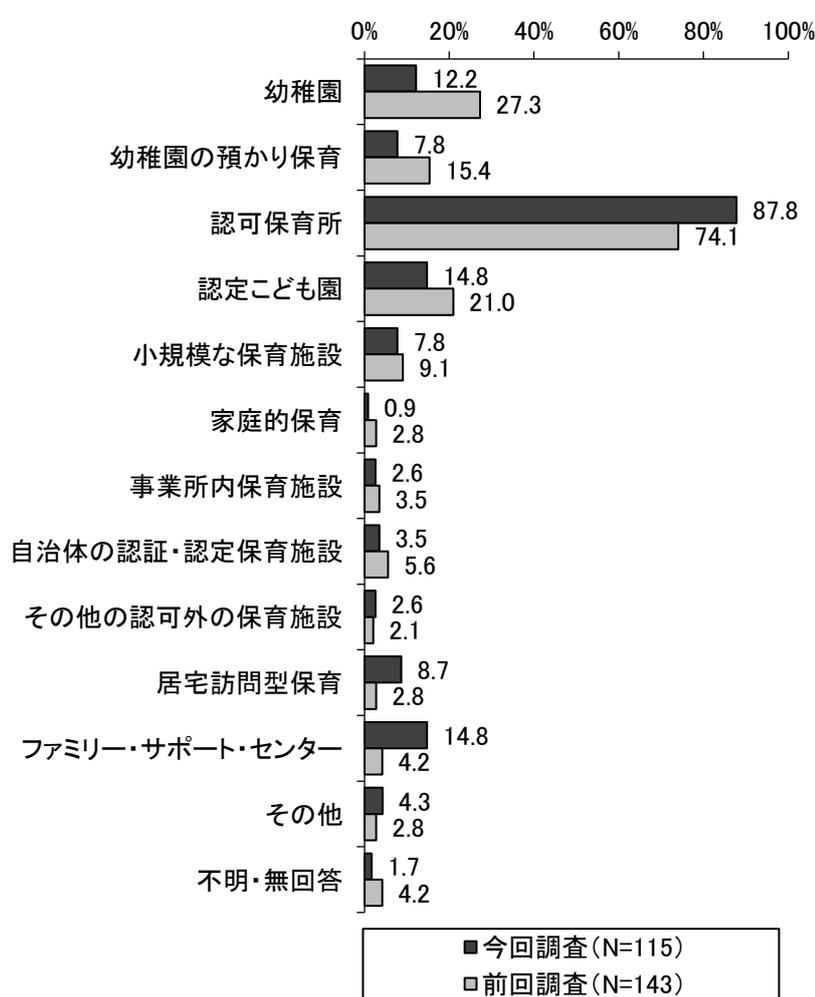
### 3. 現在の利用の有無にかかわらず、平日の教育・保育事業として、「定期的」に利用したいと考える事業をお答えください。(複数回答)

(就学前児童の保護者:問15)

現在の利用の有無にかかわらず、平日の教育・保育事業として、「定期的」に利用したい保育施設等についてみると、「認可保育所」が87.8%と最も高く、次いで「認定こども園」「ファミリー・サポート・センター」がともに14.8%となっています。

前回調査と比較すると、「認可保育所」が13.7ポイント、「ファミリー・サポート・センター」が10.6ポイント、「居宅訪問型保育」が5.9ポイント増加し、「幼稚園」が15.1ポイント、「幼稚園の預かり保育」が7.6ポイント、「認定こども園」が6.2ポイント減少しています。

【就学前児童の保護者】



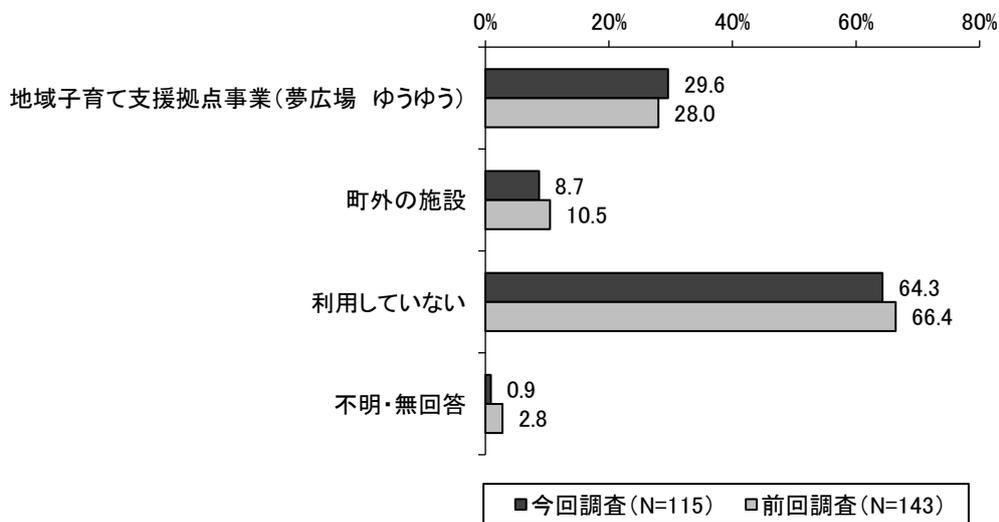
## 5 地域の子育て支援事業の利用状況等について

1. お子さんは、現在、地域子育て支援事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場(福祉センター(夢広場 ゆうゆう)2階の「子育て支援センター」で開催しています。)を利用してありますか。(複数回答)

(就学前児童の保護者:問16)

現在、子育て支援センターを利用しているかについてみると、「利用していない」が64.3%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業(夢広場 ゆうゆう)」が29.6%、「町外の施設」が8.7%となっています。前回調査との比較において、大きな違いはありません。

【就学前児童の保護者】



## 6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

1. お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、「定期的」な教育・保育の事業の利用希望はありますか。  
 (一時的な利用は除きます。)(単数回答)

(就学前児童の保護者:問19)

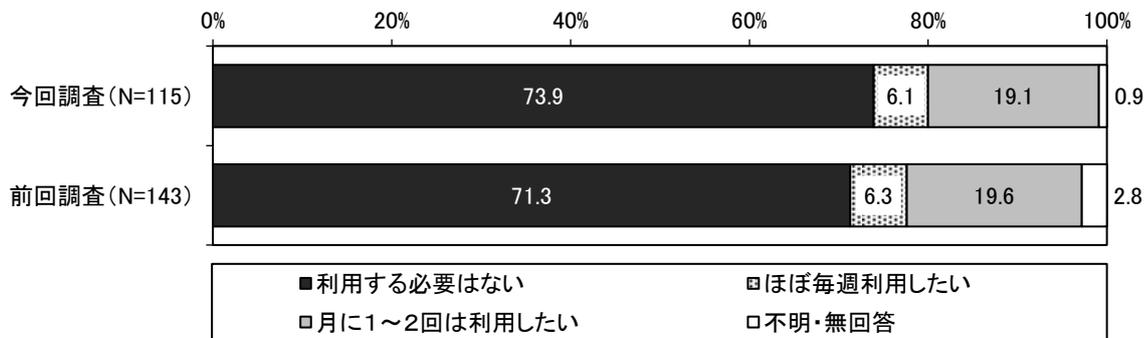
保育施設等の利用希望についてみると、土曜日では「利用する必要はない」が73.9%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が19.1%、「ほぼ毎週利用したい」が6.1%となっています。

日曜日・祝日では「利用する必要はない」が82.6%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が13.9%、「ほぼ毎週利用したい」が2.6%となっています。

土曜日、日曜日・祝日ともに前回調査との比較において、大きな違いはありません。

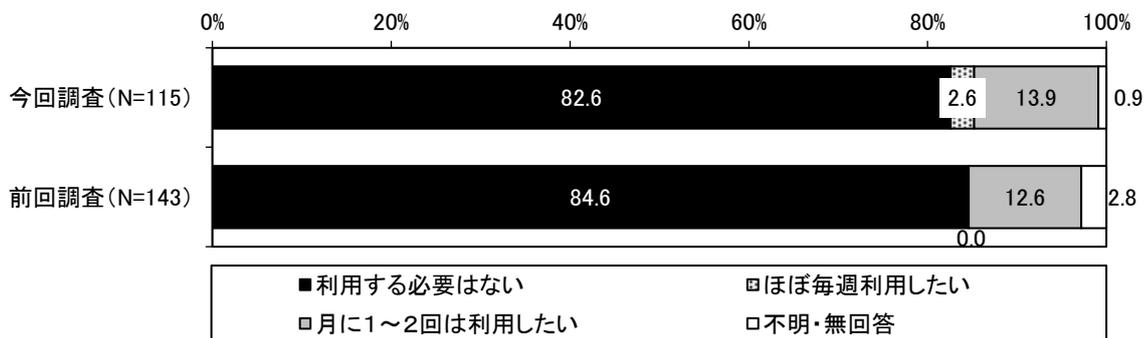
【就学前児童の保護者】

【土曜日】



【就学前児童の保護者】

【日曜日・祝日】



## 7 お子さんの病気の際等の対応について

1. この1年間で、お子さんが病気やけがで保育施設等を利用できなかったことはありますか。  
 または、学校を休んだことはありますか。

(単数回答)

(就学前児童の保護者:問21、小学生の保護者:問19)

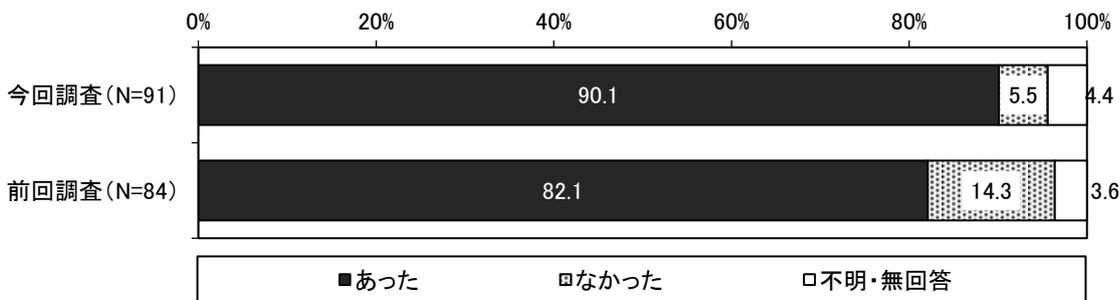
この1年間に、お子さんが病気やケガで保育施設等を利用できなかったまたは学校を休んだことの有無についてみると、就学前児童の保護者では「あった」が90.1%、「なかった」が5.5%となっています。

前回調査と比較すると、「あった」が8.0ポイント増加し、「なかった」が8.8ポイント減少してします。

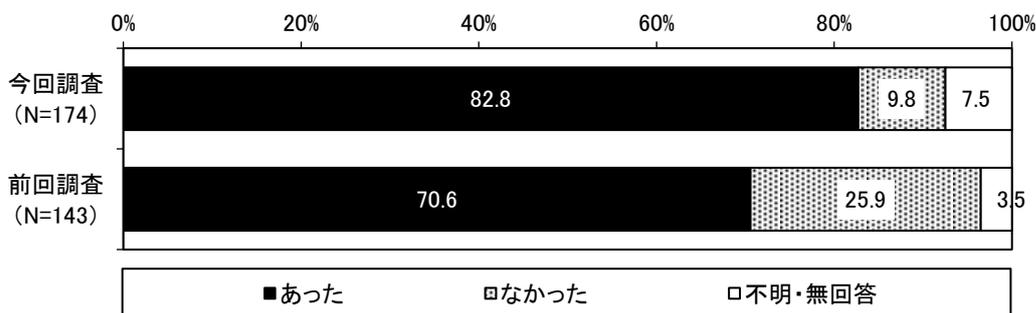
小学生の保護者では「あった」が82.8%、「なかった」が9.8%となっています。

前回調査と比較すると、「あった」が12.2ポイント増加し、「なかった」が16.1ポイント減少してします。

【就学前児童の保護者】



【小学生の保護者】



## 2. お子さんが利用できなかった場合の、この1年間の対処方法をお答えください。(複数回答)

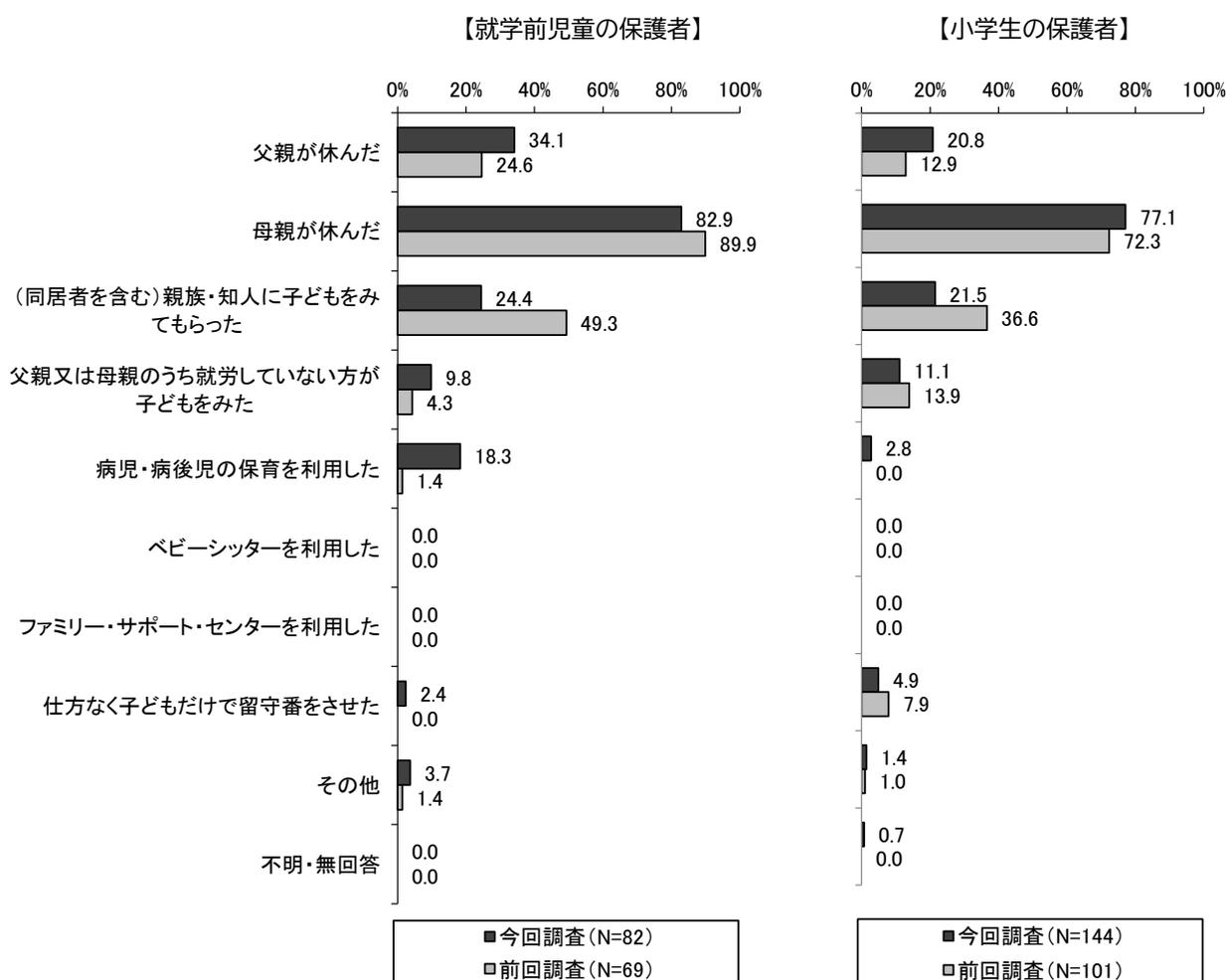
(就学前児童の保護者:問21-1、小学生の保護者:問19-1)

お子さんが利用できなかった場合の、この1年間の対処方法についてみると、就学前児童の保護者では「母親が休んだ」が82.9%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が34.1%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が24.4%となっています。

前回調査と比較すると、「病児・病後児の保育を利用した」が16.9ポイント、「父親が休んだ」が9.5ポイント、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が5.5ポイント増加し、「親族・知人に子どもをみてもらった」が24.9ポイント、「母親が休んだ」が7.0ポイント減少しています。

小学生の保護者では「母親が休んだ」が77.1%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が21.5%、「父親が休んだ」が20.8%となっています。

前回調査と比較すると、「父親が休んだ」が7.9ポイント増加し、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が15.1ポイント減少しています。



## 8 お子さんの放課後の過ごし方について

### 1. お子さんが小学校低学年(1～3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(複数回答)

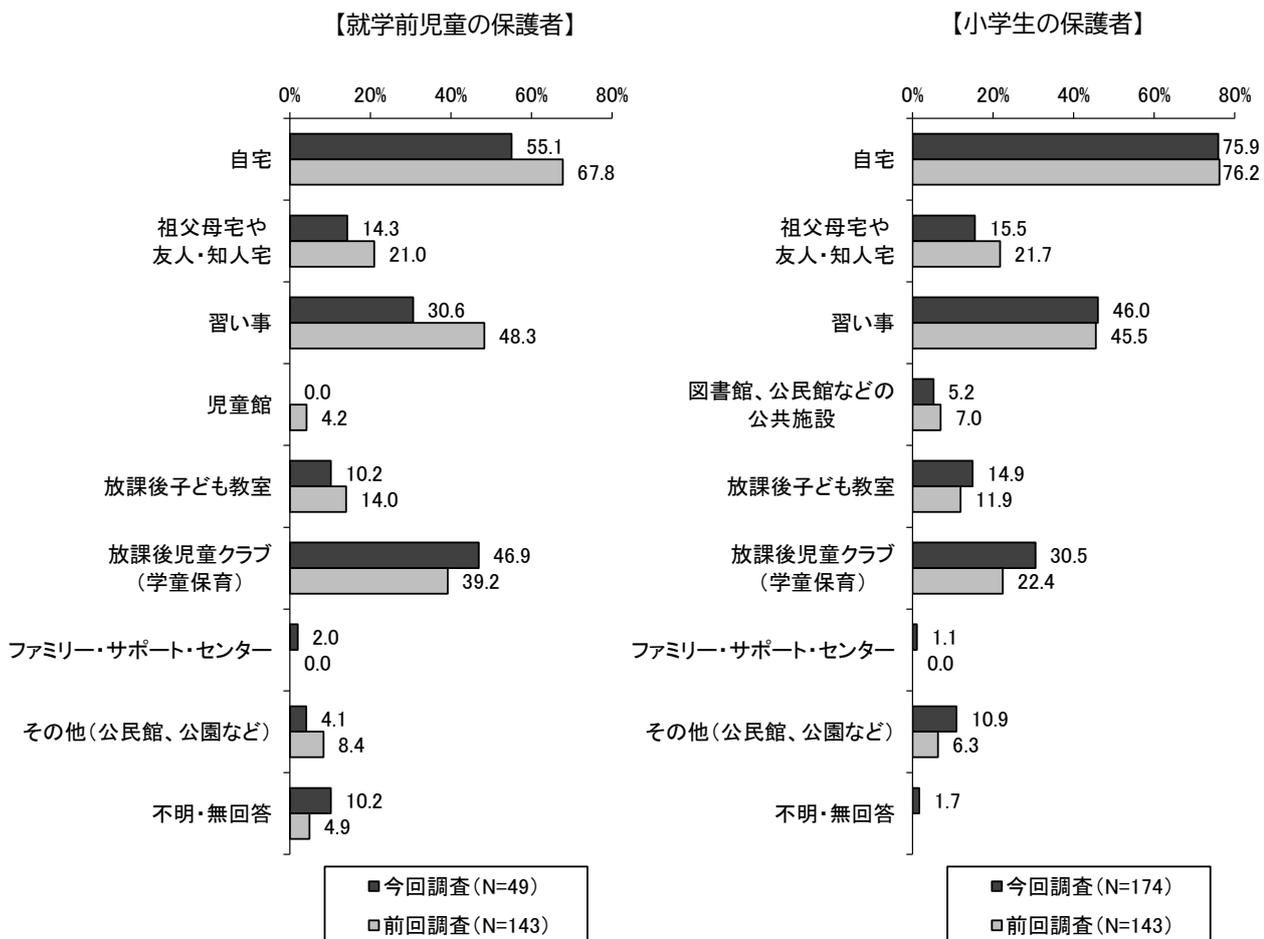
(就学前児童の保護者:問25、小学生の保護者:問13)

小学校低学年(1～3年生)の間で平日の放課後の時間を過ごさせたいと思う場所についてみると、就学前児童の保護者では「自宅」が55.1%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」が46.9%、「習い事」が30.6%となっています。

前回調査と比較すると、「放課後児童クラブ(学童保育)」が7.7ポイント増加し、「習い事」が17.7ポイント、「自宅」が12.7ポイント、「祖父母宅や友人・知人宅」が6.7ポイント減少しています。

小学生の保護者では「自宅」が75.9%と最も高く、次いで「習い事」が46.0%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が30.5%となっています。

前回調査と比較すると、「放課後児童クラブ(学童保育)」が8.1ポイント増加し、「祖父母宅や友人・知人宅」が6.2ポイント減少しています。



※「その他(公民館、公園など)」は前回調査では、「その他」となっています。

## 2. お子さんが小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(複数回答)

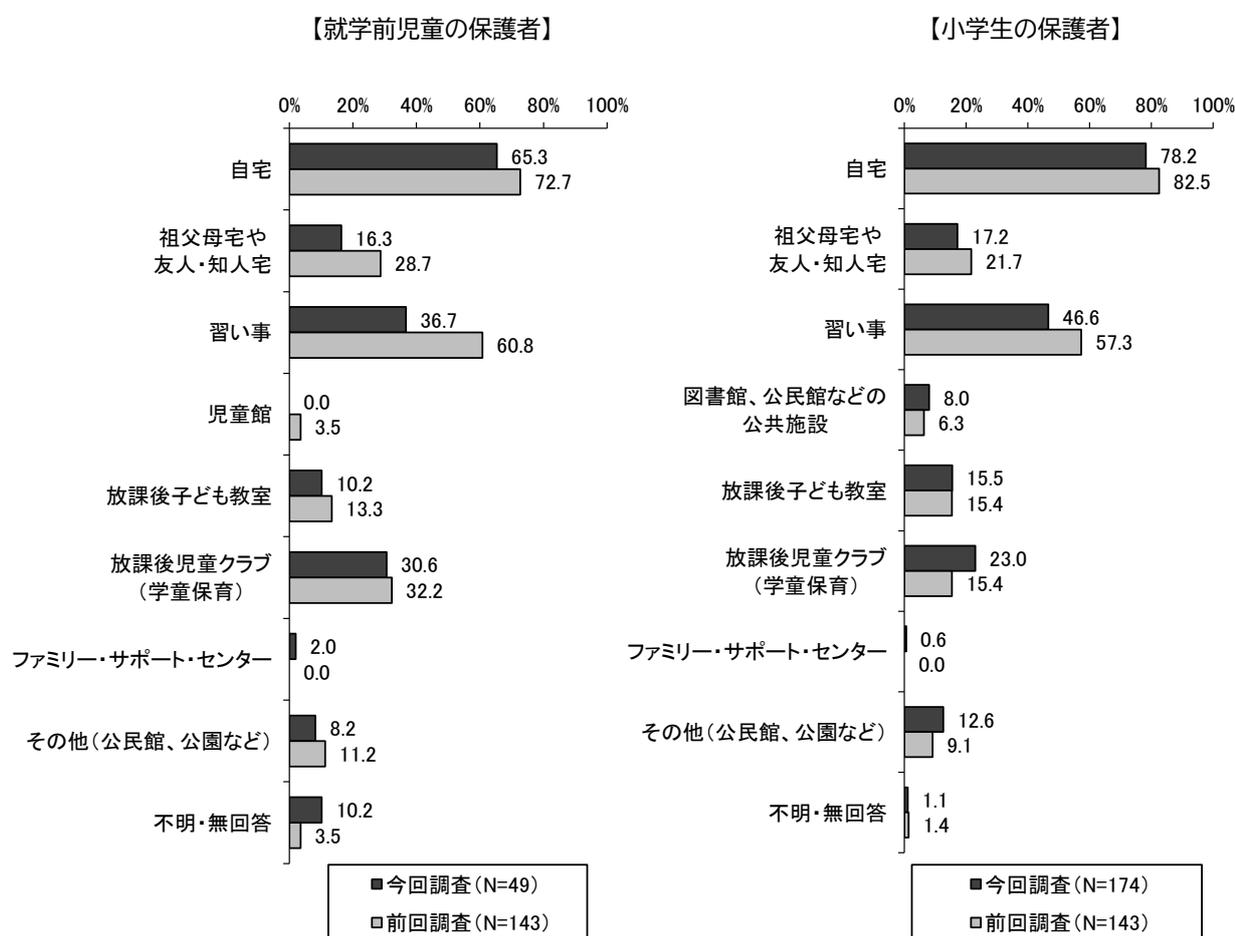
(就学前児童の保護者:問26、小学生の保護者:問14)

小学校高学年(4～6年生)の間で平日の放課後の時間を過ごさせたいと思う場所についてみると、就学前児童の保護者では「自宅」が65.3%と最も高く、次いで「習い事」が36.7%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が30.6%となっています。

前回調査と比較すると、「習い事」が24.1ポイント、「祖父母宅や友人・知人宅」が12.4ポイント「自宅」が7.4ポイント減少しています。

小学生の保護者では「自宅」が78.2%と最も高く、次いで「習い事」が46.6%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が23.0%となっています。

前回調査と比較すると、「放課後児童クラブ(学童保育)」が7.6ポイント増加し、「習い事」が10.7ポイント減少しています。



※「その他(公民館、公園など)」は前回調査では、「その他」となっています。

## 9 育児休業や短時間勤務制度等、職場の両立支援制度について

### 1. お子さんが生まれた時、母親は育児休業を取得しましたか。(単数回答)

(就学前児童の保護者:問29-(1)、小学生の保護者:問23-(1))

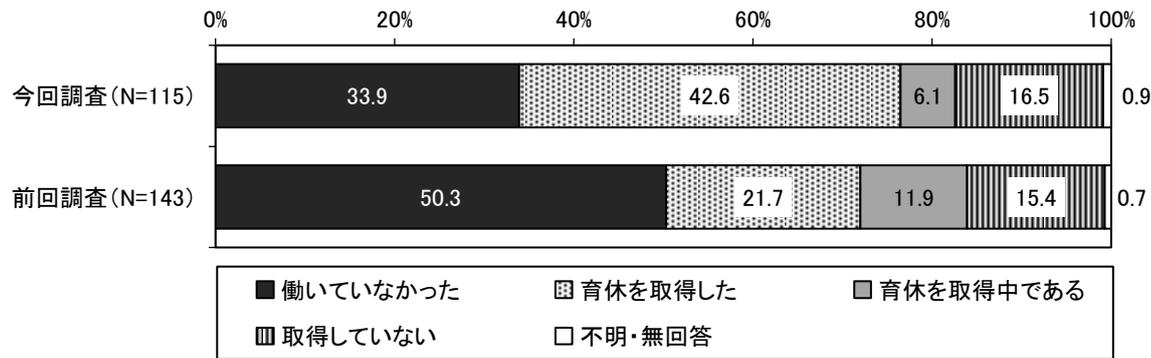
母親の育児休業取得状況についてみると、就学前児童の保護者では「育休を取得した」が42.6%と最も高く、次いで「働いていなかった」が33.9%、「取得していない」が16.5%となっています。

前回調査と比較すると、「育休を取得した」が20.9ポイント増加し、「働いていなかった」が16.4ポイント、「育休を取得中である」が5.8ポイント減少しています。

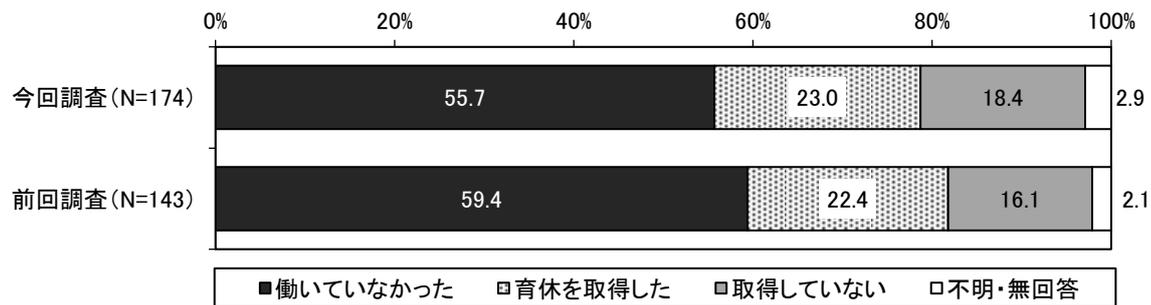
小学生の保護者では「働いていなかった」が55.7%と最も高く、次いで「育休を取得した」が23.0%、「取得していない」が18.4%となっています。

前回調査との比較において、大きな違いはありません。

#### 【就学前児童の保護者(母親)】



#### 【小学生の保護者(母親)】



## 2. お子さんが生まれた時、父親は育児休業を取得しましたか。(単数回答)

(就学前児童の保護者:問29-(2)、小学生の保護者:問23-(2))

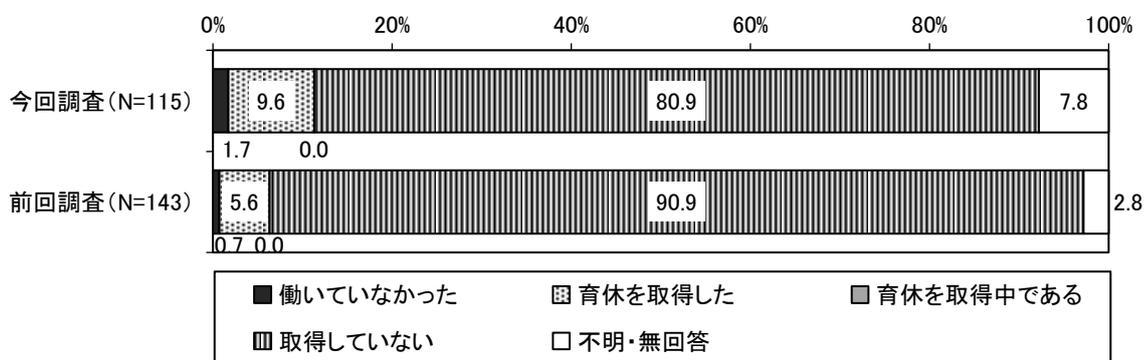
父親の育児休業取得状況についてみると、就学前児童の保護者では「取得していない」が80.9%と最も高く、次いで「育休を取得した」が9.6%、「働いていなかった」が1.7%となっています。

前回調査と比較すると、「取得していない」が10.0ポイント減少しています。

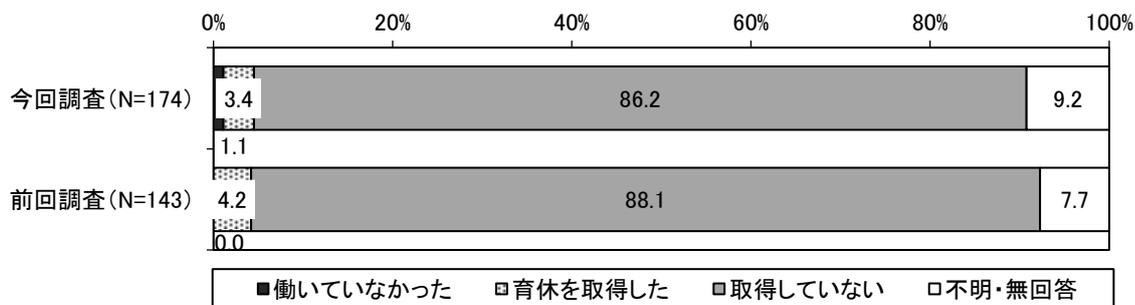
小学生の保護者では「取得していない」が86.2%と最も高く、次いで「育休を取得した」が3.4%、「働いていなかった」が1.1%となっています。

前回調査との比較において、大きな違いはありません。

### 【就学前児童の保護者(父親)】



### 【小学生の保護者(父親)】



### 3. 母親が育児休業を取得していない理由(複数回答)

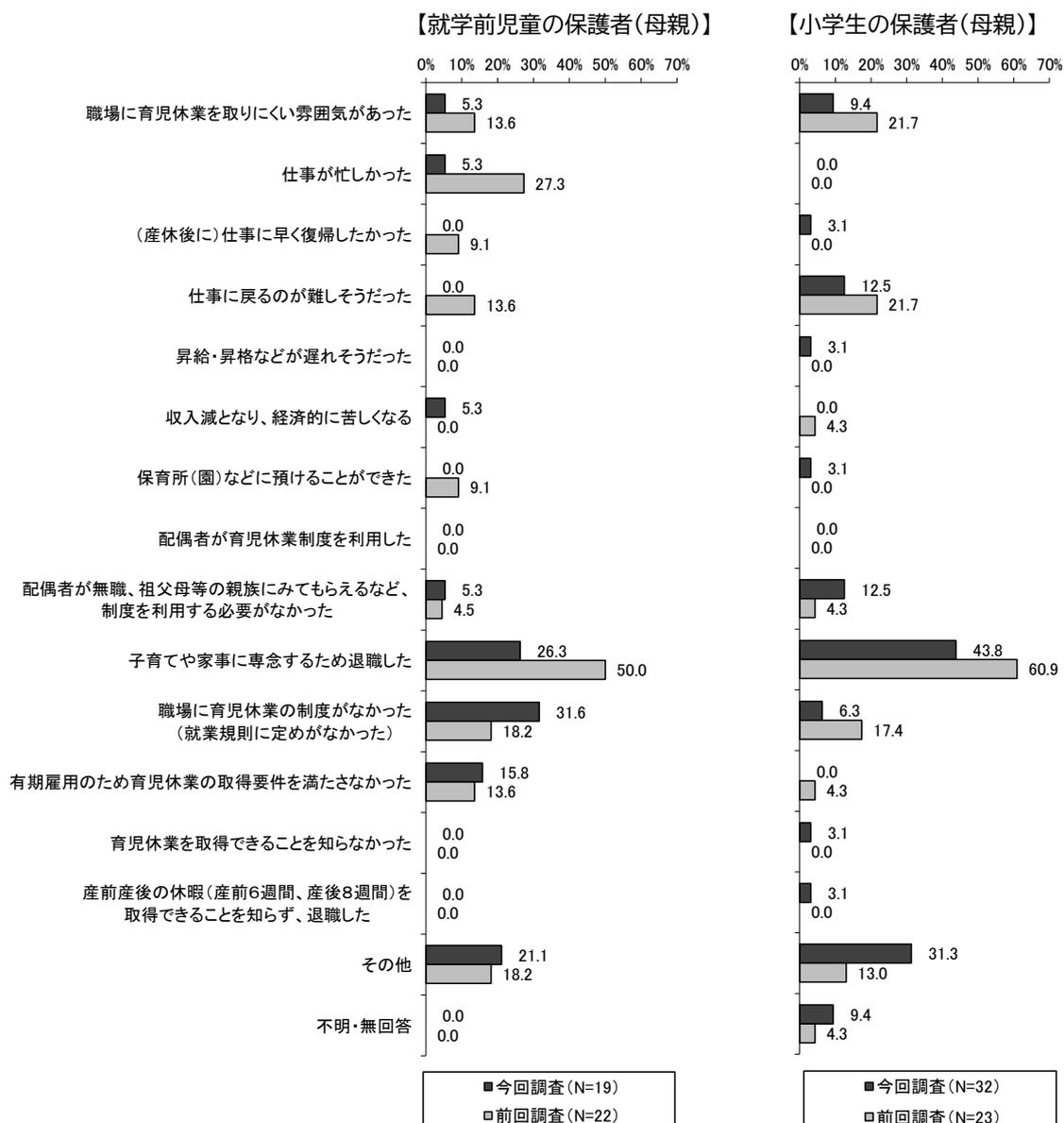
(就学前児童の保護者:問29-(1) ■取得していない理由、小学生の保護者:問23-(1) ■取得していない理由)

母親の育児休業を取得していない理由(「その他」除く)についてみると、就学前児童の保護者では「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が31.6%と最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が26.3%、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」が15.8%となっています。

前回調査と比較すると、「職場に育児休業の制度がなかった」が13.4ポイント増加し、「子育てや家事に専念するため退職した」が23.7ポイント、「仕事が忙しかった」が22.0ポイント、「仕事に戻るのが難しそうだった」が13.6ポイント減少しています。

小学生の保護者では「子育てや家事に専念するため退職した」が43.8%と最も高く、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」がともに12.5%となっています。

前回調査と比較すると、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が8.2ポイント増加し、「子育てや家事に専念するため退職した」が17.1ポイント、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が12.3ポイント、「職場に育児休業の制度がなかった」が11.1ポイント減少しています。



#### 4. 父親が育児休業を取得していない理由(複数回答)

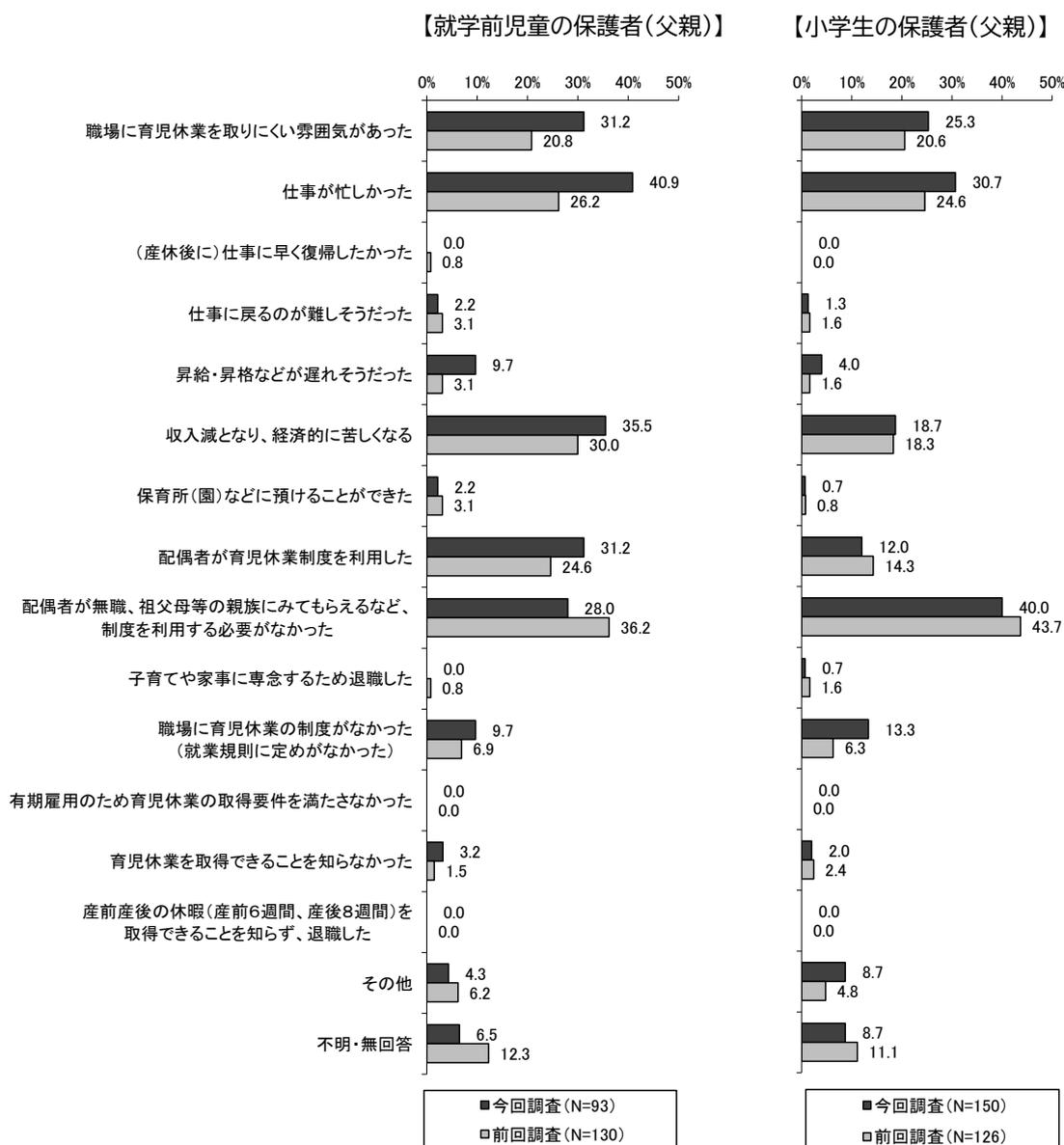
(就学前児童の保護者:問29-(2) ■取得していない理由、小学生の保護者:問23-(2) ■取得していない理由)

父親の育児休業を取得していない理由(「その他」除く)についてみると、就学前児童の保護者では「仕事が忙しかった」が40.9%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が35.5%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「配偶者が育児休業制度を利用した」がともに31.2%となっています。

前回調査と比較すると、「仕事が忙しかった」が14.7ポイント、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が10.4ポイント、「昇給・昇格などが遅れそうだった」「配偶者が育児休業制度を利用した」がともに6.6ポイント増加し、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が8.2ポイント減少しています。

小学生の保護者では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が40.0%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が30.7%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が25.3%となっています。

前回調査と比較すると、「職場に育児休業の制度がなかった」が7.0ポイント、「仕事が忙しかった」が6.1ポイント増加しています。



# 10 子ども・子育て支援の充実について

## 1. 八百津町における子育ての環境や支援への満足度について。(複数回答)

(就学前児童の保護者:問30、小学生の保護者:問24)

八百津町における子育ての環境や支援への満足度についてみると、「3(どちらでもない)」が44.3%と最も高く、次いで「4(満足度がやや高い)」が20.9%、「2(満足度がやや低い)」が16.5%となっています。

『満足度が低い計』(「1(満足度が低い)」と「2(満足度がやや低い)」の割合の小計)は24.3%、『満足度が高い計』(「5(満足度が高い)」と「4(満足度がやや高い)」の割合の小計)は27.0%となっています。

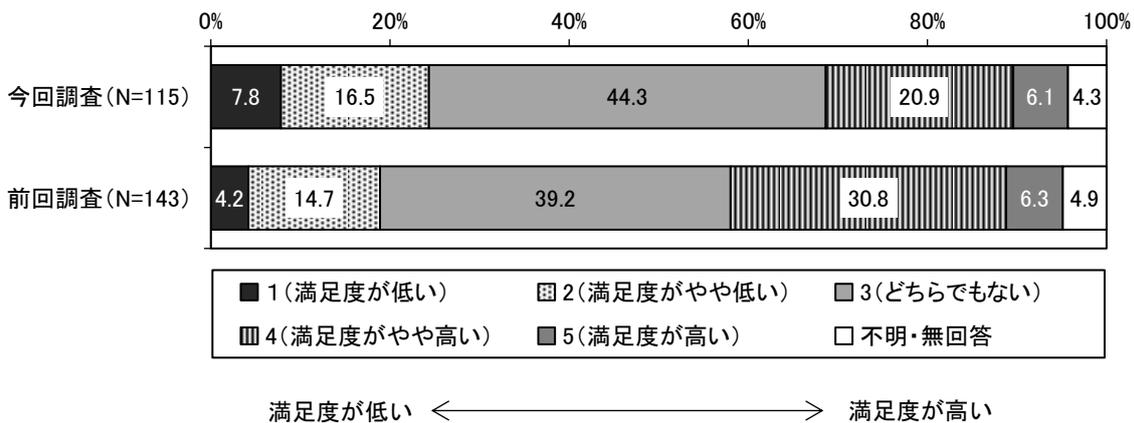
前回調査と比較すると、『満足度が低い計』が5.4ポイント増加し、『満足度が高い計』は10.1ポイント減少しています。

小学生の保護者では「3(どちらでもない)」が44.8%と最も高く、次いで「4(満足度がやや高い)」が27.0%、「2(満足度がやや低い)」が17.8%となっています。

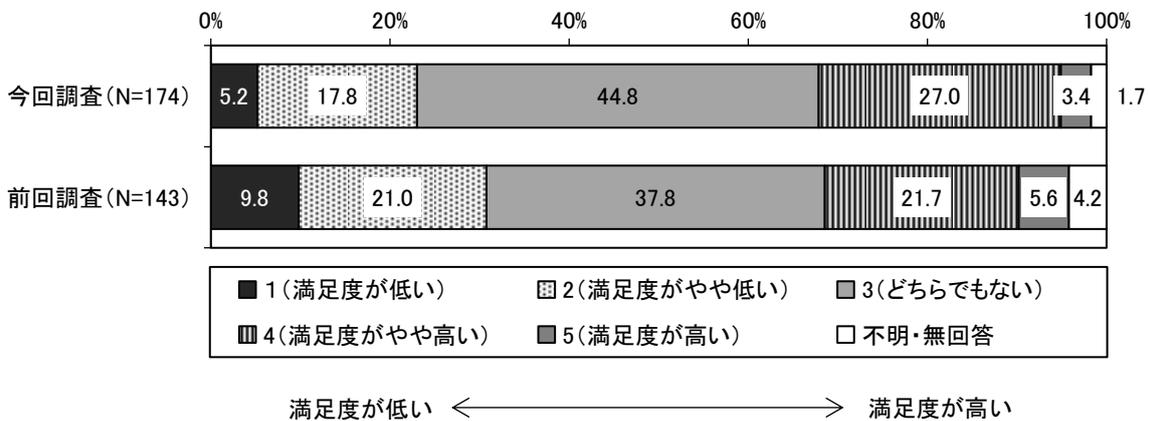
『満足度が低い計』は23.0%、『満足度が高い計』は30.4%となっています。

前回調査と比較すると、『満足度が低い計』が7.8ポイント減少し、『満足度が高い計』は3.1ポイント増加しています。

### 【就学前児童の保護者】



### 【小学生の保護者】



## 2. 子育てや子どもの育ちの支援として、地域住民、地域団体、ボランティア等に特に期待すること何ですか。(単数回答)

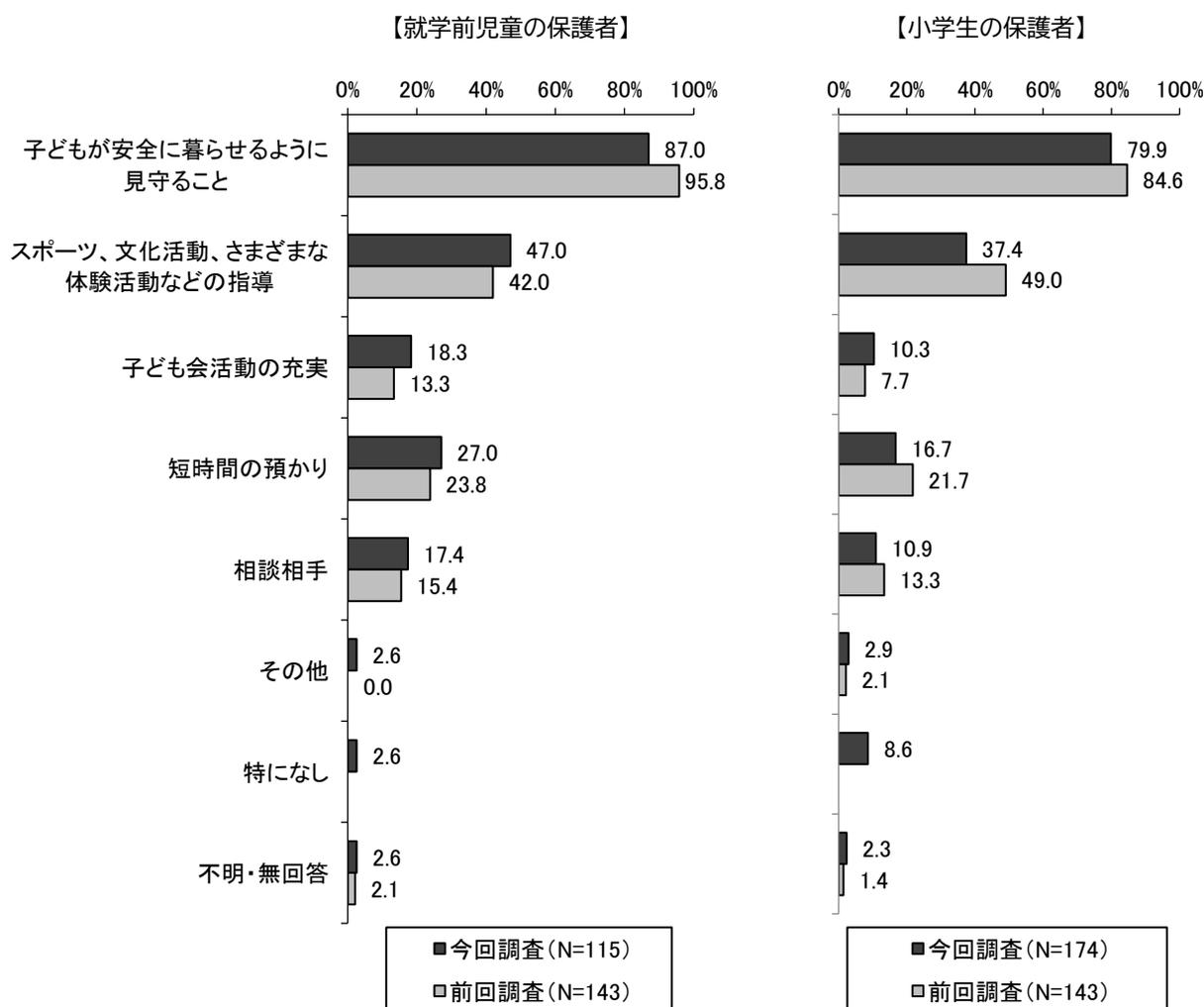
(就学前児童の保護者:問32、小学生の保護者:問26)

子育てや子どもの育ちの支援として、地域住民、地域団体、ボランティア等に特に期待することについてみると、就学前児童の保護者では「子どもが安全に暮らせるように見守ること」が87.0%と最も高く、次いで「スポーツ、文化活動、さまざまな体験活動などの指導」が47.0%、「短時間の預かり」が27.0%となっています。

前回調査と比較すると、「スポーツ、文化活動、さまざまな体験活動などの指導」「子ども会活動の充実」がともに5.0ポイント増加し、「子どもが安全に暮らせるように見守ること」が8.8ポイント減少しています。

小学生の保護者では「子どもが安全に暮らせるように見守ること」が79.9%と最も高く、次いで「スポーツ、文化活動、さまざまな体験活動などの指導」が37.4%、「短時間の預かり」が16.7%となっています。

前回調査と比較すると、「スポーツ、文化活動、さまざまな体験活動などの指導」が11.6ポイント、「短時間の預かり」が5.0ポイント減少しています。



※「特になし」は今回調査のみの選択肢です。

## 11 子育てについて

### 1. お子さんの子育てに関して、悩んだり、精神的に不安定になることがありますか。(単数回答)

(就学前児童の保護者:問35、小学生の保護者:問28)

子育てに関して、悩んだり、精神的に不安定になることの有無についてみると、就学前児童の保護者では「時々ある」が53.0%と最も高く、次いで「ほとんどない」が20.9%、「よくある」が14.8%となっています。

『ある計』(「よくある」と「時々ある」の割合の小計)は67.8%、『ない計』(「ない」と「ほとんどない」の割合の小計)は30.5%となっています。

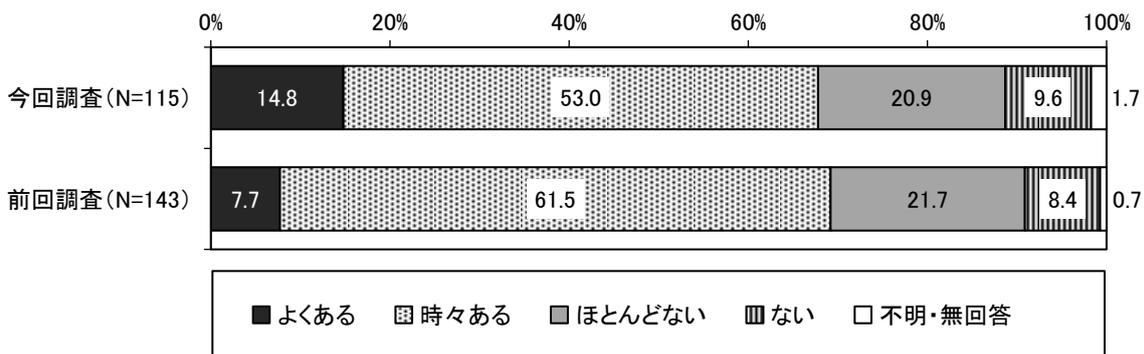
前回調査と比較すると、『ある計』『ない計』ともに大きな違いはありませんが、『ある計』の内訳をみると「よくある」が7.1ポイント増加し、「時々ある」が8.5ポイント減少しています。

小学生の保護者では「時々ある」が55.2%と最も高く、次いで「ほとんどない」が26.4%、「よくある」が9.8%となっています。

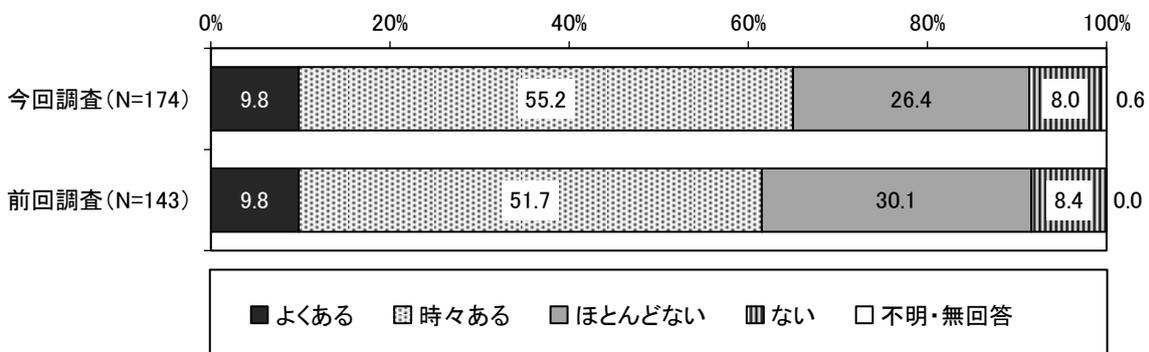
『ある計』は65.0%、『ない計』は34.4%となっています。

前回調査との比較において、大きな違いはありません。

【就学前児童の保護者】



【小学生の保護者】



## 2. 子育てをしている中で、ストレスを感じ、子どもに手をあげてしまう、あるいは手をあげそうになったことがありますか。(単数回答)

(就学前児童の保護者:問36、小学生の保護者:問29)

子育てをしている中で、ストレスを感じ、子どもに手をあげてしまう、あるいは手をあげそうになったことの有無についてみると、就学前児童の保護者では「時々ある」が40.0%と最も高く、次いで「ほとんどない」が28.7%、「ない」が24.3%となっています。

『ある計』(「よくある」と「時々ある」の割合の小計)は44.3%、『ない計』(「ない」と「ほとんどない」の割合の小計)は53.0%となっています。

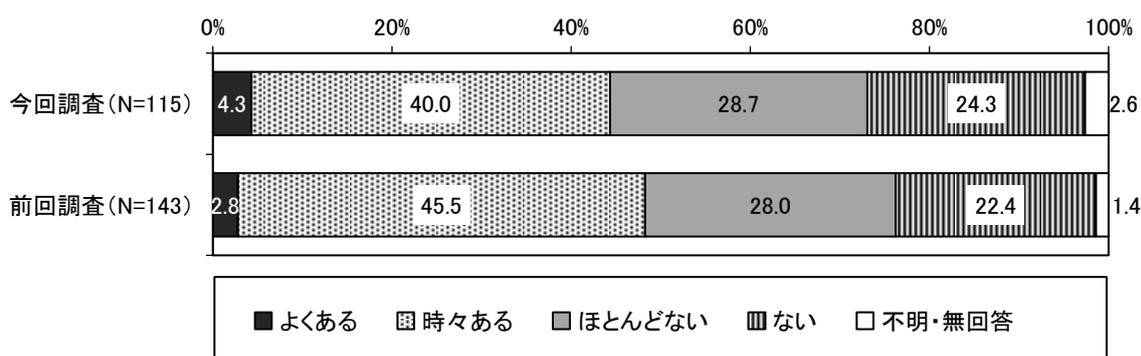
前回調査と比較すると、「時々ある」が5.5ポイント減少しています。

小学生の保護者では「時々ある」が40.2%と最も高く、次いで「ほとんどない」が32.2%、「ない」が23.0%となっています。

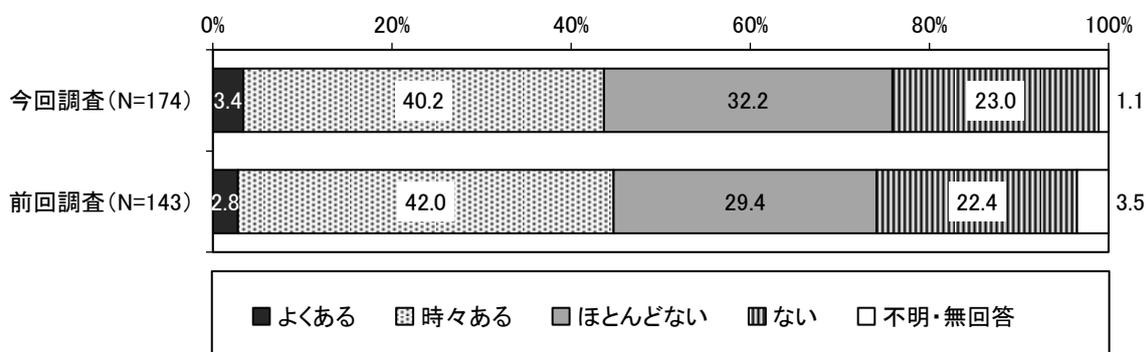
『ある計』は43.6%、『ない計』は55.2%となっています。

前回調査との比較において、大きな違いはありません。

### 【就学前児童の保護者】



### 【小学生の保護者】



### 3. 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(複数回答)

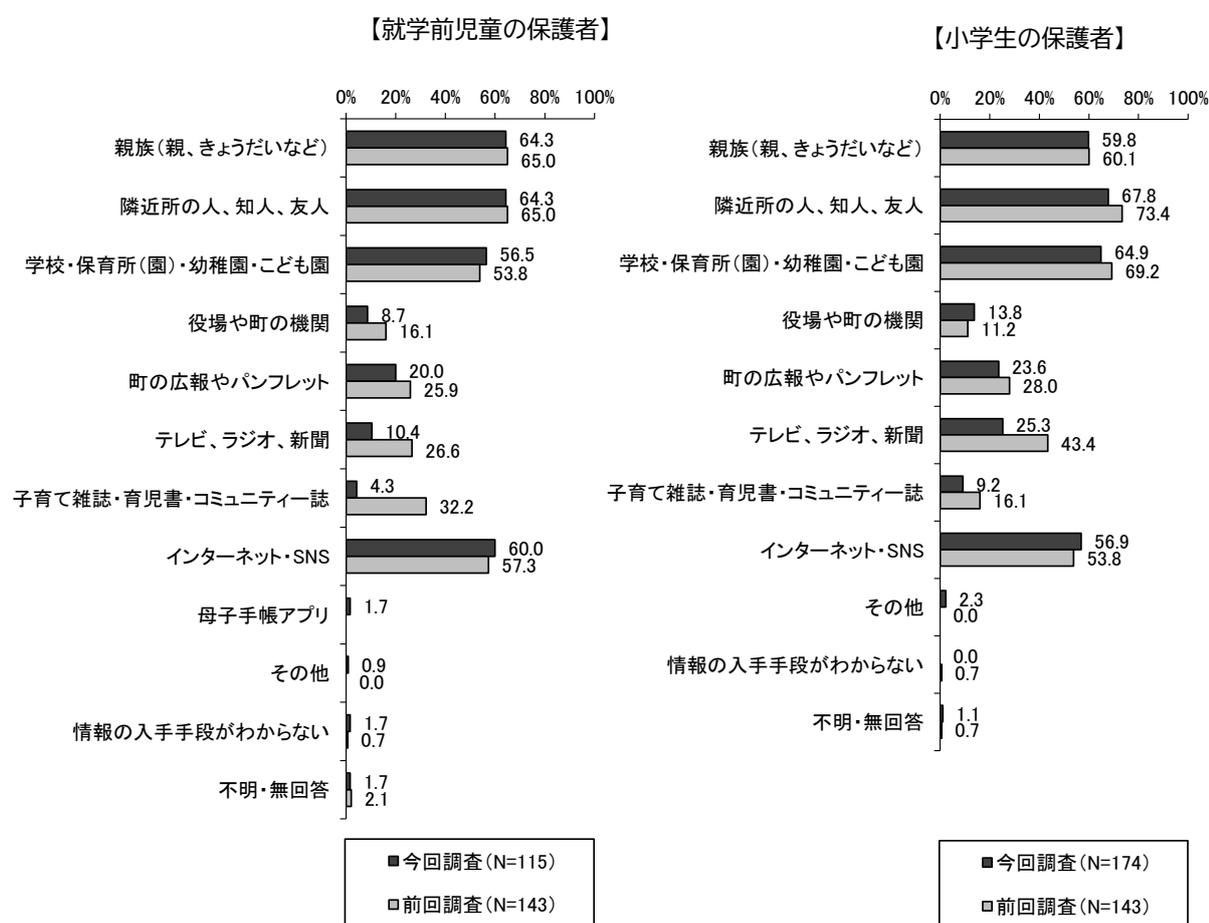
(就学前児童の保護者:問40、小学生の保護者:問33)

子育てに関する情報の入手方法についてみると、「親族(親、きょうだいなど)」「隣近所の人、知人、友人」がともに64.3%と最も高く、次いで「インターネット・SNS」が60.0%となっています。

前回調査と比較すると、「子育て雑誌・育児書・コミュニティー誌」が27.9ポイント、「テレビ、ラジオ、新聞」が16.2ポイント、「役場や町の機関」が7.4ポイント減少しています。

小学生の保護者では「隣近所の人、知人、友人」が67.8%と最も高く、次いで「学校・保育所(園)・幼稚園・こども園」が64.9%、「親族(親、きょうだいなど)」が59.8%となっています。

前回調査と比較すると、「テレビ、ラジオ、新聞」が18.1ポイント、「子育て雑誌・育児書・コミュニティー誌」が6.9ポイント、「隣近所の人、知人、友人」が5.6ポイント減少しています。



※「母子手帳アプリ」は就学前児童の保護者調査かつ今回調査のみの選択肢です。

#### 4. 子育てに関する情報は十分に入手できていますか。(単数回答)

(就学前児童の保護者:問41、小学生の保護者:問34)

子育てに関する情報を十分に入手できているかについてみると、「どちらかといえばできている」が59.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばできていない」が26.1%、「十分できている」が10.4%となっています。

『できている計』(「十分できている」と「どちらかといえばできている」の割合の小計)は69.5%、『できていない計』(「できていない」と「どちらかといえばできていない」の割合の小計)は29.6%となっています。

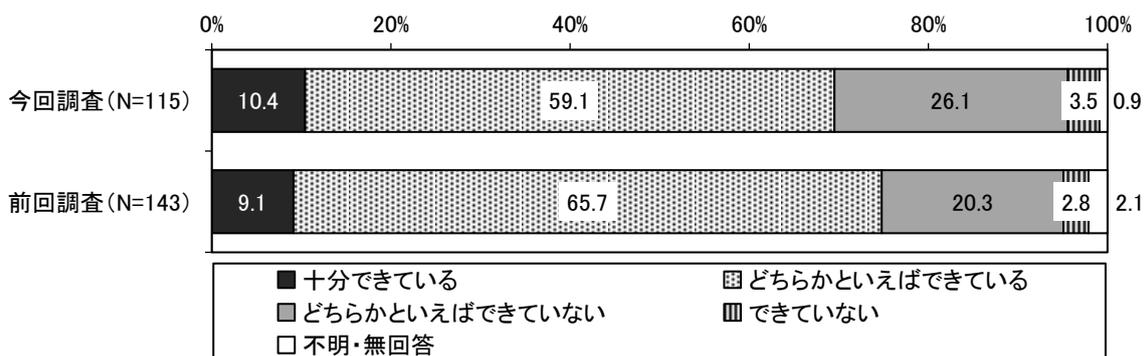
前回調査と比較すると、『できていない計』が6.5ポイント増加し、『できている計』が5.3ポイント減少しています。

小学生の保護者では「どちらかといえばできている」が66.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばできていない」が23.6%、「十分できている」が6.9%となっています。

『できている計』は73.6%、『できていない計』は25.3%となっています。

前回調査と比較すると、『できていない計』が7.1ポイント増加し、『できている計』が5.4ポイント減少しています。

##### 【就学前児童の保護者】



##### 【小学生の保護者】

